

# サービス付き高齢者住宅の現況

サービス付高齢者住宅が着実に増加しています。別紙にある通り、昨年末時点で全国の登録棟数は2,778棟、戸数は89,228戸となっており、それぞれ3,000棟、10万戸に迫る勢いです。消費税増税による駆け込み需要等もあるでしょうから今年も大きく増加するものと思われます。

※上記数値は登録数であり、実際の施設は未稼働のものも多々あります。

現時点での情報（断りが無い限り昨年8月末時点での現況）から把握できる下記項目の割合について記します。

## ① 事業者

・法人等種別

民間会社70%、医療法人15%、社会福祉法人7%、NPO法人その他8%

・主な業種

介護系事業者60%、医療系事業者17%、不動産・建設業者12%、その他11%

## ② 住宅戸数

10戸以上20戸未満25%、20戸以上30戸未満22%、30戸以上40戸未満19%、40戸以上50戸未満が11%で全体の8割以上が50戸未満です。

昨年末時点での戸数を棟数で割り返すと1施設当たり平均32戸となります。

## ③ 住宅規模

専有部分面積は18㎡以上25㎡未満70%、25㎡以上は30%です。

## ④ 提供サービス（提供者の割合）

食事提供サービス94%、入浴等の介護サービス52%、調理等の家事サービス55%、健康維持増進サービス62%

## ⑤ サービス付き高齢者住宅と併設される居宅支援事業を行う施設

通所介護事業所47%、訪問介護事業所43%、居宅介護支援事業所30%、小規模多機能型居宅介護事業所11%

## ⑥ 常駐者

ホームヘルパー2級以上の資格者42%、居宅介護サービス事業者の職員38%、自ら設置する住宅を管理する医療法人の職員13%

## ⑦ 状況把握及び生活相談サービス

24時間常駐が74%、夜間は緊急通報サービスのみが26%

上記内容の詳細はホームページでも確認できますので、ご参照ください。

なお、前回の事務所ニュースでも触れましたが、病医院では65歳以上の入院患者が減少傾向にあるようです。高齢者住宅の増加も一要因と思われるので、近隣の情報には気を配っておく必要がありそうです。